

「デザイン思考」アプローチで見える化する「要件定義」

「要件定義」の知図化（見える化）

SC4RD:SC for Requirements Definition



株式会社ボス・ジャパン



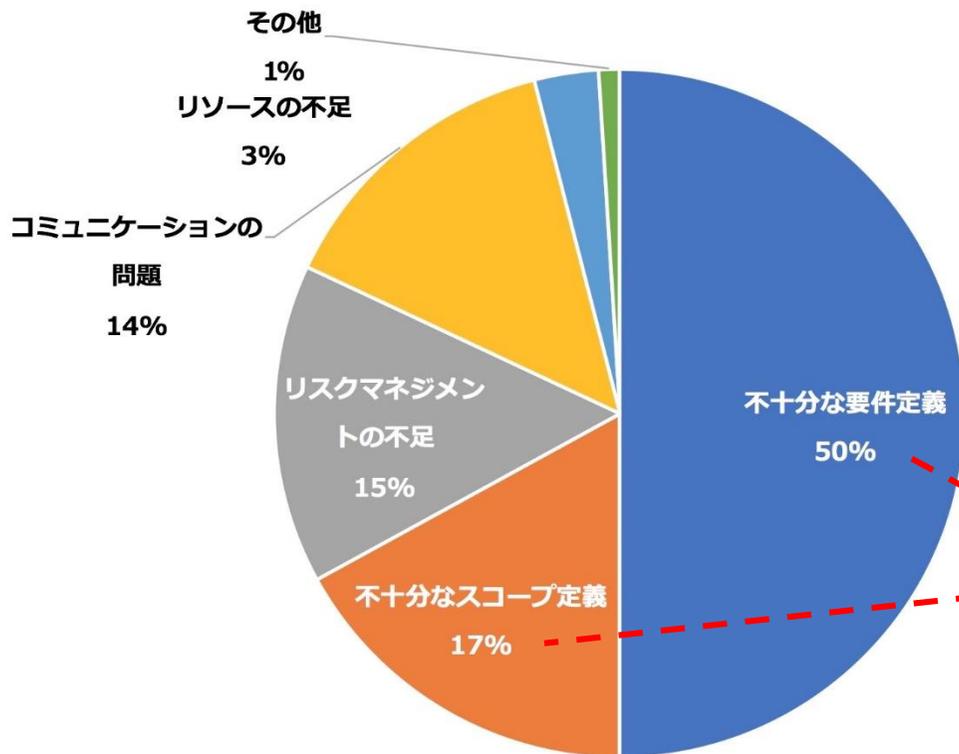
ストラクチャードコミュニケーション協会

2020年1月

取締役 渡邊 安夫

ITプロジェクト失敗の最大要因とは？

プロジェクト失敗の原因



15年前から
変わらず

50% + 17% =
67%



プロジェクト失敗の原因は**ほぼ要件定義にある**

2018年3月
日経BP総研

出典：

William Dow, Bruce Taylor, Project Management Communications Bible, 2008

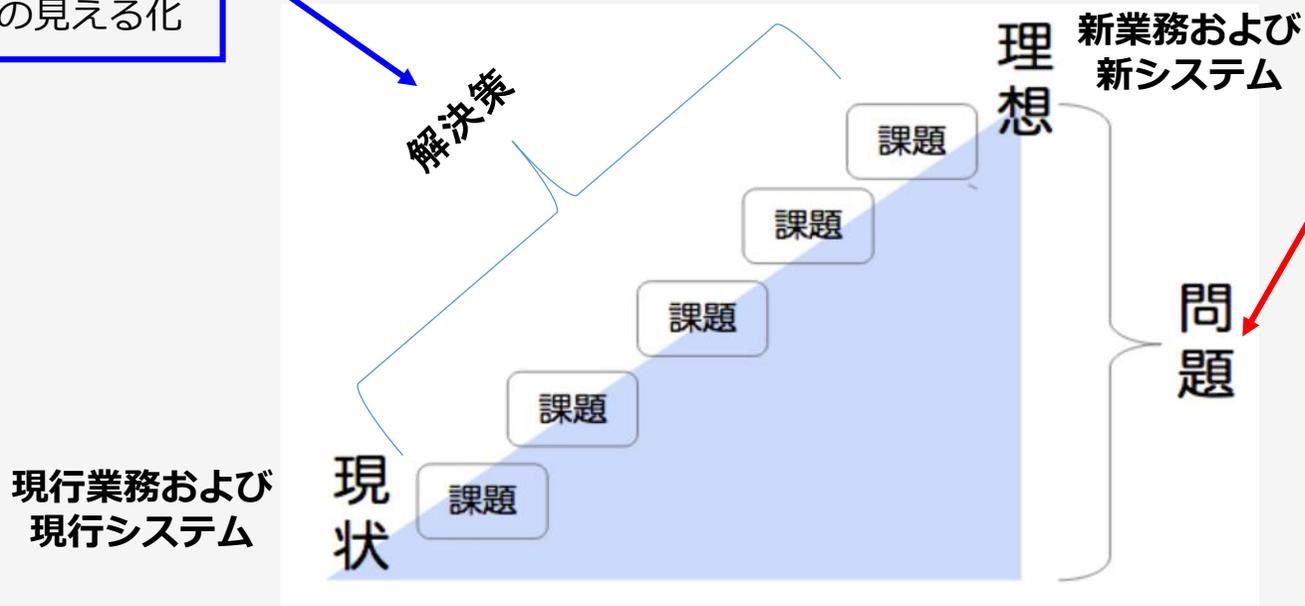
要件定義の知図化（見える化）の意義

要件定義の見える化

- 要件定義の構造化
- 相互理解の高速化
- 解決策の見える化



方針および
方向性



要件定義が不十分

- 要件定義の不備
- 要件定義が長引く
- 要件定義の甘さ

67%



構造化した「質問」+



視覚化した「図解」



組織や社会の課題解決
業務の効率化と標準化

改善ポイント - コミュニケーション方法の革新 -

現状の問題

ビジネスニーズのヒアリングなどにおいて、話し手自身も自分の考え方をまとめ切れていなかったり、多くの参加者を対象とするため全体の考え方がバラバラでひとつにまとめるのが難しい。また、**自分の言いたいことが伝わって**いなかったり、**相手の言いたいことを誤解して**しまったなどのコミュニケーションミスにより**仕事が遅れたり、手戻りが発生**してしまう。

プロセス

聴く・考える・伝える
プロセスが**属人的なやり方**に依存している。

メソッド

コミュニケーションに関する**共通の手法**が
確立されていない。

ルール

コミュニケーションに関する**明示的なルール**が存在しない。

スキル

ファシリテータの**スキル習得プログラム**
や**研修**が継続的でない。

原因

4ステップ

情報の**収集、分類**
構造化、視覚化を
体系的に行う方法
を取り入れる。

3スタイル

図解で**伝える**
図解で**聴く**
図解で**考える**
スタイルを習得する。

10ストラクチャ

コミュニケーションに役立つ**図解の基本パターン**を体系的に
学び、日々実践する。

1スキル

コミュニケーションを改善できる**教育**や
研修を組織的かつ
戦略的に導入する。

改善 ポイント

速く、確実な相互理解

「速く、確実な相互理解」の実現による効果とメリット

